

令和6年度 シラバス

| | | | | | | | |
|-----|--|-----|-----------------|----|------|----------|-------|
| 教科 | 理科 | 科目 | 地学基礎 | 学年 | 第2学年 | 学科 種類 | 普通科文系 |
| 単位数 | 2単位 | 教科書 | 高等学校 地学基礎 (啓林館) | | | | |
| 副教材 | センサー地学基礎 (啓林館) 地学学習帳2024 (愛媛県高等学校教育研究会理科部会) | | | | | | |

| | |
|------|--|
| 学習目標 | 日常生活や社会との関連を図りながら、宇宙の誕生から現在の地球に至るまでを時間的・空間的な広がりの中で捉えられるよう、地学の基本的な概念や原理・法則を学びます。我々の生活を取り巻く環境や環境問題に対して目的意識を持って考え、地学的に探究する能力と態度を身に付けます。 |
|------|--|

| | |
|-----------|---|
| キャリア教育の視点 | 地球や地球を取り巻く環境に対して目的意識を持って観察を行い、今後予測される地球環境の変化や、地球の歴史資源の成り立ちについて学ぶ中で、自分の考えを发表或し、他者の意見を傾聴することで様々な考えがあることに気づき、他者の意見を尊重したりする態度を養います。 |
|-----------|---|

| | | 学習計画及び内容 | | 考査 |
|-------------|-----|--|---|-------|
| 1 学 期 | 4月 | 第1部 固体地球とその変動 第1章 地球 | 地球の形・大きさの測定の仕方や構造などについて、歴史を踏まえ学びます。プレート運動に起因する地震の性質とその結果としての地殻変動に関して理解を深めます。また、火山活動や火成岩の特徴について学びます。地球と生命の歴史をひもとき、地球と生命の関係への理解を深めます。生物界や地球環境の変遷や、地質時代の区分や時間的なスケールを理解します。大気圏の構造とともに、地球の熱収支について学びます。 | 中間考査 |
| | 5月 | 第2章 活動する地球 | | |
| | 6月 | 第2部 移り変わる地球 第1章 地球史の読み方 第2章 地球と生命の進化 | | 期末考査 |
| | 7月 | 第3部 大気と海洋 第1章 大気圏の構造 | | |
| 2 学 期 | 8月 | 第2章 太陽放射と大気・海水の運動 | 太陽の放射エネルギーが大気や海洋の運動を生じさせ、気象の変化を起こすことを理解します。太陽系の天体に関して、系統的に学習し、理解を深めます。太陽系の他の惑星と比較しながら、地球の特徴を調べ、地球の誕生について学びます。太陽のエネルギー源や構造、太陽の活動の様子などについて学びます。 | 中間考査 |
| | 9月 | 第3章 日本の天気 | | |
| | 10月 | 第4部 宇宙の構成 | | 期末考査 |
| | 11月 | 第1章 太陽系と太陽 | | |
| 3 学 期 | 1月 | 第2章 恒星としての太陽の進化 第3章 銀河系と宇宙 | 恒星の進化の過程や時間的なスケール、宇宙の構造について理解します。また、環境問題について理解します。日本の自然環境の特徴を知るとともに、そこで起こる災害についても学びます。 | 学年末考査 |
| | 2月 | 第5部 地球の環境 | | |
| | 3月 | | | |

| | |
|-------|--|
| 学習の方法 | 授業で教科書の内容を理解し、その後実験を行ったり地学学習帳を活用したりすることによって、自分の目で見て確認してください。また、問題演習によって知識の定着を図ってください。3年生での進路選択および科目選択を考え、学習を進めていきますので、予習・復習等計画性を持ってしっかり学習に取り組んでいきましょう。 |
|-------|--|

| | |
|-------|--|
| 評価の仕方 | 下記の(1)～(5)の項目を、評価の観点別(知識・観察や実験の技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度)に評価します。各学期の成績はそれらの評価から総合的に判断します。 (1)授業への取組 (2)ノートに記載内容 (3)観察・実験等 (4)教科書・問題集の問題 (5)中間・期末考査 |
|-------|--|

| | |
|----|--|
| 備考 | |
|----|--|